

## 第4章 職場環境とストレスの関係を把握する ー多変数の関係性の分析ー

2014.08.08 川端一光・荘島宏二郎

### 図4-1, 4-2 散布図 手順1/2

グラフ → レガシーダイアログ → 散布図

The screenshot shows the SPSS Statistics interface with the 'Graph' menu open. The path 'Graph' → 'Legacy Dialogs' → 'Scatter/Dot' is highlighted. Below the menu, a data table is visible with columns for '年齢' (Age), '抑うつ' (Depression), '活力' (Vitality), and '責任' (Responsibility).

	年齢	抑うつ	活力	責任
1	35	37	52	41
2	25	52	47	37
3	60	60	36	61
4	49	65	67	62
5	33	53	42	48
6	55	57	49	61
7	40	40	58	52
8	40	45	38	50
9	61	54	45	67
10	29	40	58	43
11	49	60	33	53
12	21	41	56	34
13	59	73	47	59
14	23	41	69	36

## 目的

- 散布図
- 散布図行列
- 相関行列(相関係数)
- クロス集計表・層別クロス集計表
  
- データはv01c4stress.savを使用

### 図4-1, 4-2 散布図 手順2/2

① 単純な散布図を選択

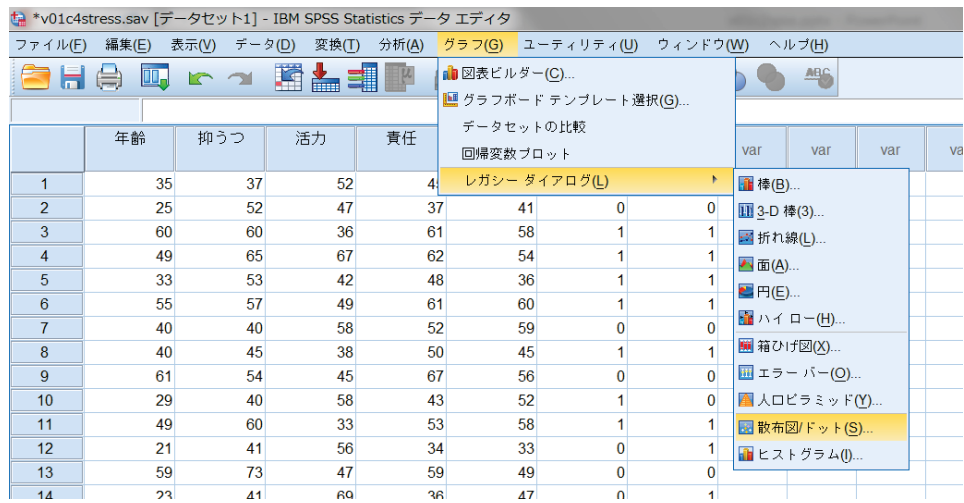
② 定義を押す  
このウィンドウが出現

③ Y軸(縦軸)に抑うつを、  
X軸(横軸)に年齢を入れる  
  
※図4-2の場合はY軸に  
活力を入れる

The first screenshot shows the '散布図/ドット' dialog box with '単純な散布' (Simple Scatter) selected. The second screenshot shows the '単純散布図' dialog box with '抑うつ' (Depression) assigned to the Y-axis and '年齢' (Age) assigned to the X-axis.

## 図4-10 散布図行列 手順1/2

グラフ → レガシーダイアログ → 散布図

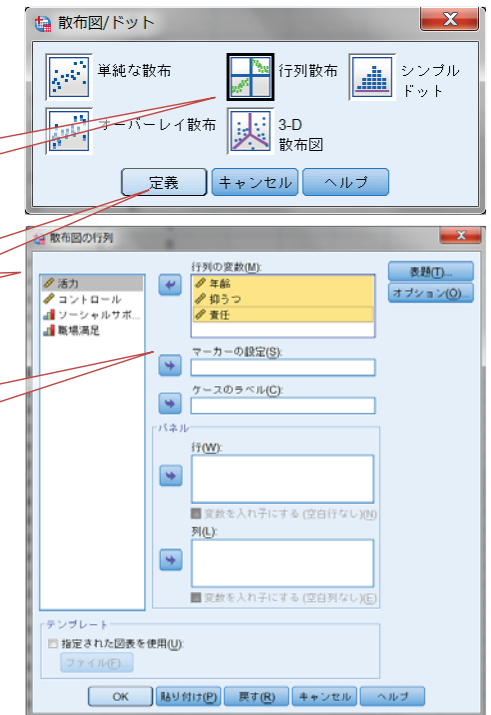


## 図4-10 散布図行列 手順2/2

① 行列散布を選択

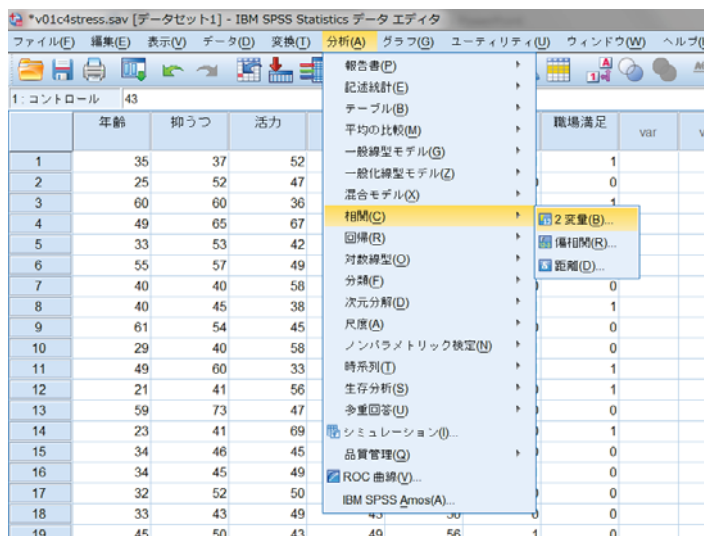
② 定義を押す  
このウィンドウが出現

③ 年齢、抑うつ、責任を  
右のボックスに入れる



## 表4-6 相関行列 手順1/2

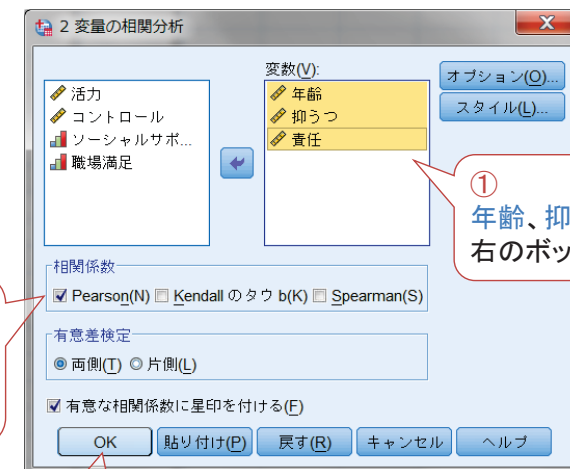
分析 → 相関 → 2変量



## 表4-6 相関行列 手順2/2

② チェックを確認。  
デフォルトで  
入っている。

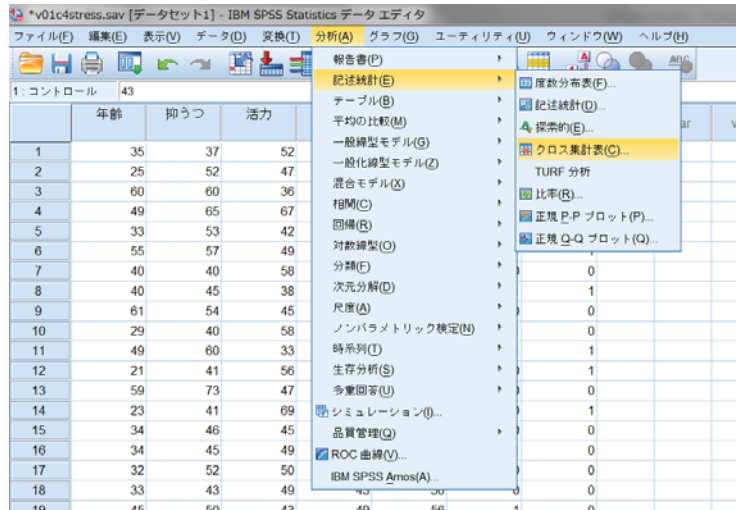
③ OKを押す



① 年齢、抑うつ、責任を  
右のボックスに入れる

## 表4-8, 4-9 クロス集計表 手順1/3

分析 → 記述統計 → クロス集計表

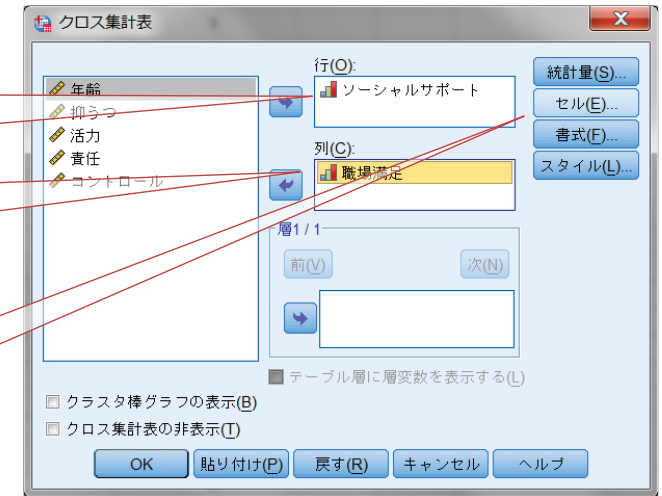


## 表4-8, 4-9 クロス集計表 手順2/3

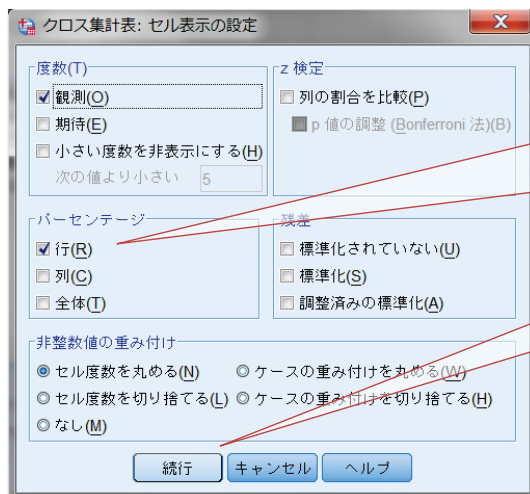
① ソーシャルサポートを  
行のボックスへ

② 職場満足を列の  
ボックスへ

③ セルを押す



## 表4-8, 4-9 クロス集計表 手順3/3



① 表4-9の行方向の割合表記を  
出力するためにチェック。  
ただし、パーセンテージで出力  
される。

② 続行を押す。1つ前の画面に戻  
るのでOKを押す。

## 表4-12b, c 層別クロス集計表 手順1/7

変換 → 他の変数への値の再割り当て



※まず、年齢層という年齢を層化する変数を作ります

## 表4-12b, c 層別クロス集計表 手順2/7

① 年齢を左の変数リストから中のボックスへ

② 年齢層と入力

③ 変更を押す  
年齢→年齢層となる

④ 今までの値と新しい値を押す

この画面は「他の変数への値の再割り当て」ダイアログボックスのスクリーンショットです。左側のリストには「抑うつ」「活力」「責任」「コントロール」「ソーシャルサポ...」「職場満足」があります。中央には「数値型変数 -> 出力変数」として「年齢 -> 年齢層」が選択されています。右側の「変換先変数」には「名前(N):」「年齢層」「ラベル(L):」があり、「変更(H)」ボタンがあります。下部には「今までの値と新しい値(O)...」と「IF(I)... (任意のケースの選択条件)」があります。ボタンの下に「OK」「貼り付け(P)」「戻す(R)」「キャンセル」「ヘルプ」があります。

## 表4-12b, c 層別クロス集計表 手順3/7

① チェック

② 選択

③ 入力

④ 入力

⑤ 押す  
ボックス内に  
20 thru 29 → '20代'  
と表示される

この画面は「他の変数への値の再割り当て」ダイアログボックスのスクリーンショットです。左側のリストには「抑うつ」「活力」「責任」「コントロール」「ソーシャルサポ...」「職場満足」があります。中央には「数値型変数 -> 出力変数」として「年齢 -> 年齢層」が選択されています。右側の「変換先変数」には「名前(N):」「年齢層」「ラベル(L):」があり、「変更(H)」ボタンがあります。下部には「今までの値と新しい値(O)...」と「IF(I)... (任意のケースの選択条件)」があります。ボタンの下に「OK」「貼り付け(P)」「戻す(R)」「キャンセル」「ヘルプ」があります。

※年齢層という変数では20～29歳の人を20代と表現

## 表4-12b, c 層別クロス集計表 手順4/7

① 選択

② 入力

③ 入力

④ 押す  
50 thru Highest → '20以上'  
と表示される

この画面は「他の変数への値の再割り当て」ダイアログボックスのスクリーンショットです。左側のリストには「抑うつ」「活力」「責任」「コントロール」「ソーシャルサポ...」「職場満足」があります。中央には「数値型変数 -> 出力変数」として「年齢 -> 年齢層」が選択されています。右側の「変換先変数」には「名前(N):」「年齢層」「ラベル(L):」があり、「変更(H)」ボタンがあります。下部には「今までの値と新しい値(O)...」と「IF(I)... (任意のケースの選択条件)」があります。ボタンの下に「OK」「貼り付け(P)」「戻す(R)」「キャンセル」「ヘルプ」があります。

※年齢層という変数では50歳以上の人を50以上と表現

## 表4-12b, c 層別クロス集計表 手順5/7

① 選択

② 入力

③ 押す  
ELSE → '99'と表示される

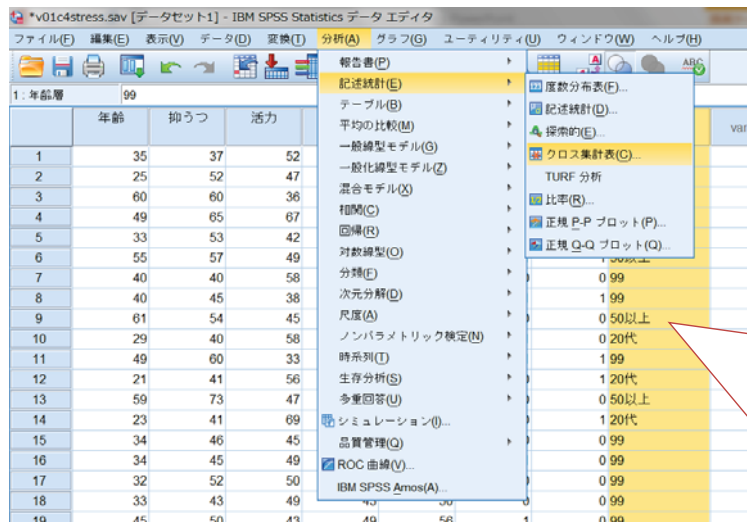
④ 押す  
1つ前の画面に戻るのでOKを押す

この画面は「他の変数への値の再割り当て」ダイアログボックスのスクリーンショットです。左側のリストには「抑うつ」「活力」「責任」「コントロール」「ソーシャルサポ...」「職場満足」があります。中央には「数値型変数 -> 出力変数」として「年齢 -> 年齢層」が選択されています。右側の「変換先変数」には「名前(N):」「年齢層」「ラベル(L):」があり、「変更(H)」ボタンがあります。下部には「今までの値と新しい値(O)...」と「IF(I)... (任意のケースの選択条件)」があります。ボタンの下に「OK」「貼り付け(P)」「戻す(R)」「キャンセル」「ヘルプ」があります。

※その他の年齢の人を99と表現

表4-12b, c 層別クロス集計表 手順6/7

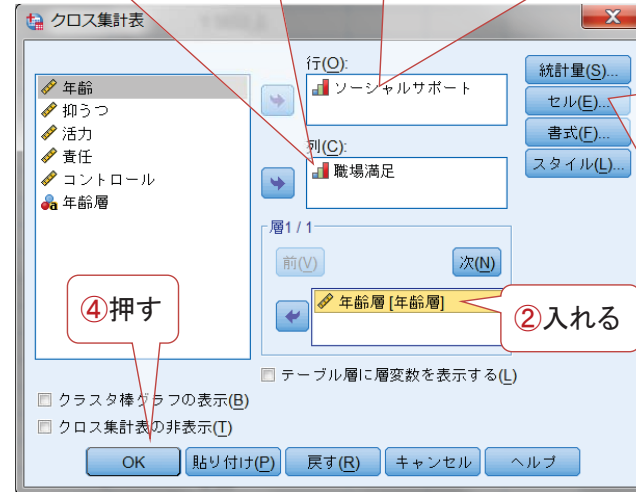
分析 → 記述統計 → クロス集計表



年齢層という変数で作られている

表4-12b, c 層別クロス集計表 手順7/7

①入れる  
前の分析の記録が残っていればすでに入っている



④押す

②入れる

③  
A 押して画面を開く  
B パーセンテージの  
行にチェック  
C 続行を押してこの  
画面に戻ってくる

※前の分析の記録が  
残っていれば、チェック  
はすでに入っている。